

スマトラ島沖地震・津波被害 調査共同発表会

東北大学・今村文彦

- 過去史上最悪の地震津波災害
- 学会は
 - 被害全体の実態把握
 - 課題の抽出整理
 - 国際的な防災対策の支援（警報システムなど）
 - 復興復旧への支援協力
 - 我が国への教訓を伝える

特別委員会の活動目的

- 広域基礎データの収集（衛星データ，津波画像，WEBサイトを活用して津波の遡上範囲，高さ，時刻等の被害記録を収集し，分析の基礎資料とする．）
- アーカイブスの構築（津波，被災等の資料や映像などを利用可能なシステムとして構築する．資料収集はWEB等を活用し，事前に使用が許諾されるものを対象とする．）
- 現地調査（主として構造物の津波に対する耐久性，避難場所としての有効性，被害を軽減する方策等を探り，復興計画に反映させるとともに，我国の津波対策への参考とする．）
- 国際ネットワーク形成（(独)建築研究所，国際津波情報センター，(独)防災科学技術研究所，気象庁北西太平洋津波情報センター，協定学協会，e-フレンド，在日の外国人研究者）
- 調査結果の公表・発表

調査の主な分野

- 地震動の影響調査
- 津波来襲状況・波力の実態調査
- インフラ施設の被害調査
- 都市や集落の再建に関わる調査

- 新たな課題
 - カルパカム原子力発電所への浸水
 - 津波警報システムの開発（国際的な調整会合）
 - 教育システムの再開（アチェ州シャクワラ大教員117名死亡）

調査地点

- インドネシア
- スリランカ
- タイ
- モルディブ
- など



討論会

- **地震・津波の特徴は何か？知られざる被害の実態は？**
 - M9の強震動、30m超の巨大津波、地球規模の遠地津波、多大な人的被害
- **わが国の予防・減災対策策への教訓は何か？**
 - 被害推定の評価項目の見直し、被害推定の高精度化、複合災害の評価
- **国際協力・交流の視点からの提言は何か？**
 - 土木技術者の役割(NGOとの協力)、社会基盤診断士(斜面、宅造)、土木の
- **教育指導者の派遣(例:シャクワラ大では津波で人材喪失し、教育者不足)**